

消防出張所における 整備手法の検討

川崎市 消防局 総務部 施設装備課



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

目次

- ・ 事業説明
 - 消防出張所とは？
 - 事業手法（想定）
- ・ 対象施設について
 - ① 高津消防署子母口出張所
 - ② 高津消防署新作出張所
 - ③ 幸消防署平間出張所
- ・ 諸条件（必要機能）
- ・ 諸条件（その他）
- ・ 事業スケジュール（予定）
- ・ 事業者の皆様に御意見を求めたい事項



消防太助



救助太助

事業説明

○消防出張所とは？

…消防出張所とは、災害発生から現場到着までの時間を勘案した場所に配置されており、消防ポンプ車、救急車等の出動拠点となる施設のこと。

⇒**現在、機能不足や老朽化が見受けられることから、今後の建替等に向けた整備手法の検討を行う必要がある。**

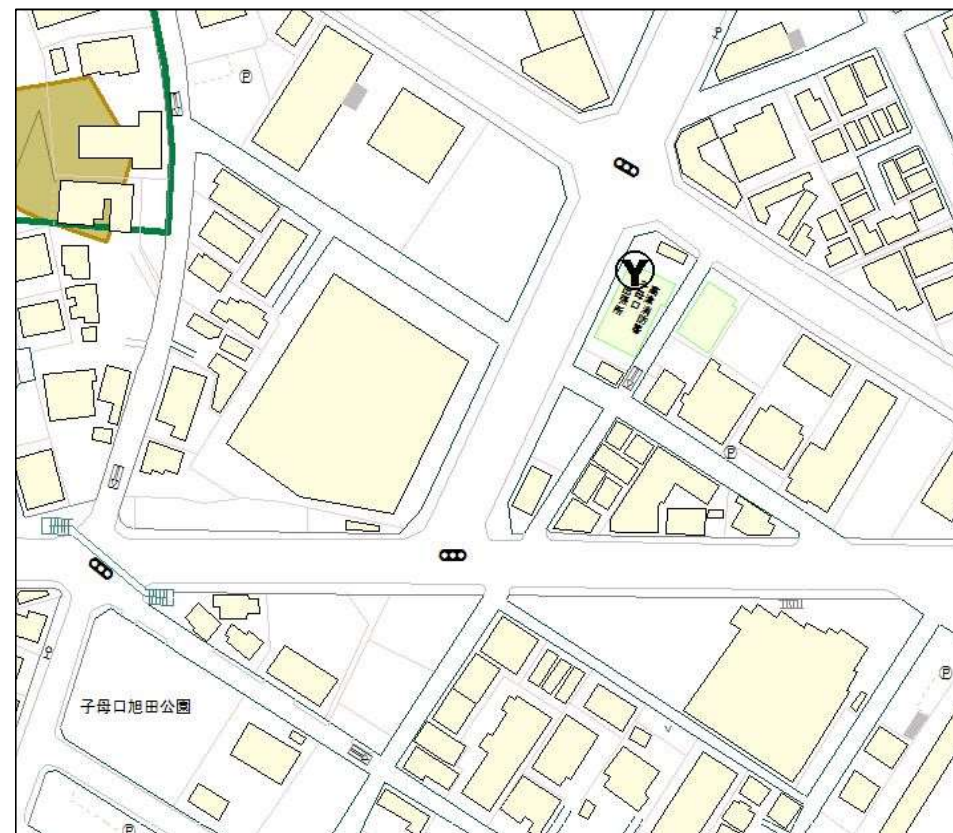
○事業手法（想定）

運営（災害や火事、救急、救助等の消防活動全般）については法令等に基づき消防局の直営で、維持管理については専門性や資格の求められる業務以外は職員が業務時間中に実施している。

⇒ D B 方式または B T 方式を想定

①高津消防署子母口出張所 現況

①	高津消防署子母口出張所
所在地	川崎市高津区子母口298-2
地番	川崎市高津区子母口字旭田298番4
建築年月	昭和54年5月
敷地面積	600.10㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造2階建て
延床面積／1階床面積	384.35㎡／249.57㎡
交通条件	J R 南武線「武蔵中原駅」より徒歩25分
用途地域	準住居地域
建ぺい率／容積率	60％／200％
配置車両	・消防ポンプ車1台 ・化学車1台 ※ポンプ車機能に加えて消火用薬剤を搭載した車



①高津消防署子母口出張所 写真

南側



東側



西側
(庁舎正面)

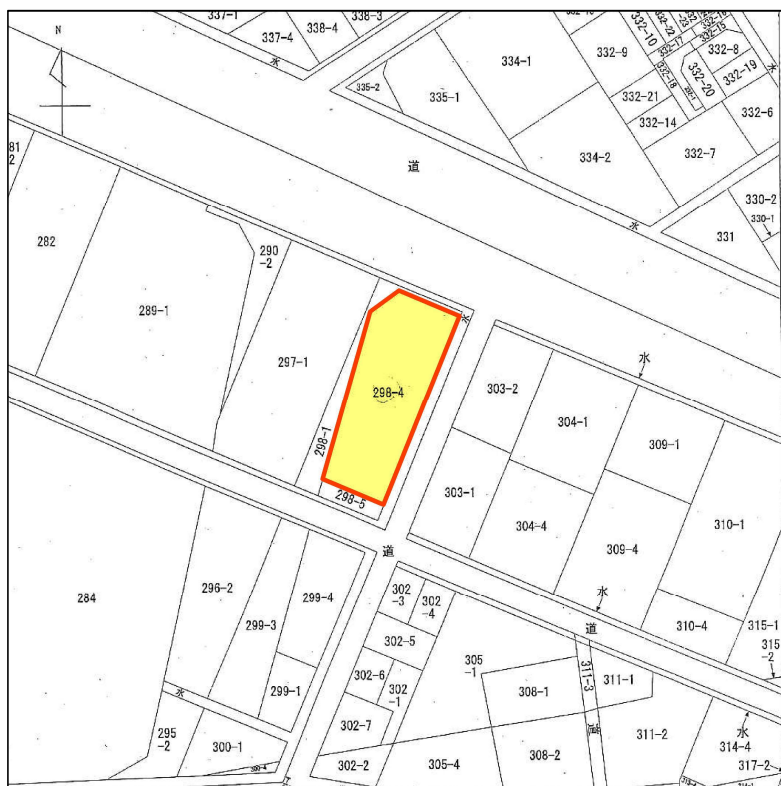


北側



①高津消防署子母口出張所 公図／地積測量図

○公図

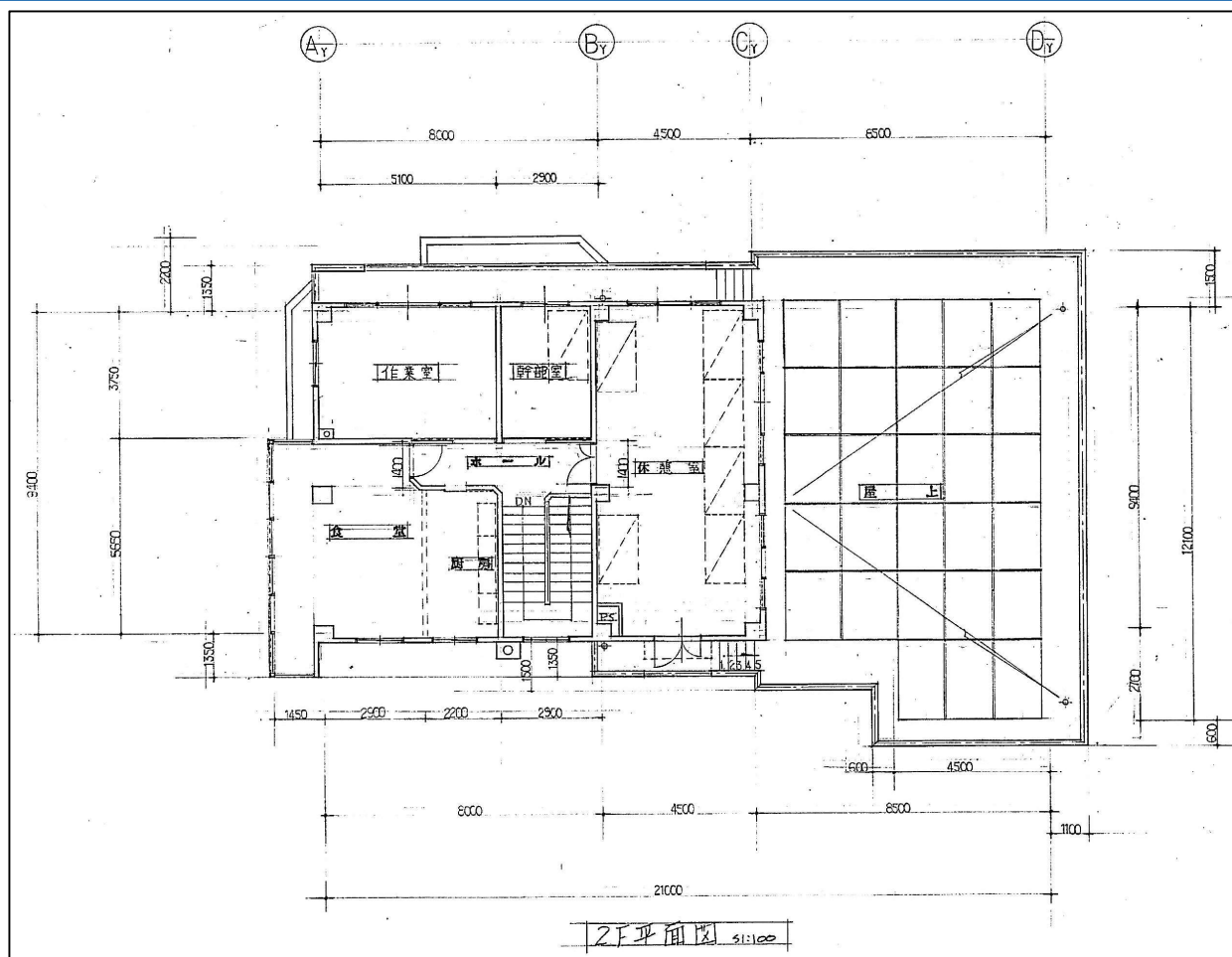


○地積測量図（抜粋）

求積計算

符号	底 辺	高 寸	倍 面 積	面 積 (㎡)
	298- 35 5			
(イ)	13.14	(2.70 + 2.82)	72.5328	36.2664
計			72.5328	
	298- 25 4			
(ロ)	37.45	11.33	424.3085	600.1057
(ハ)	42.10	(8.32 + 10.11)	775.9030	
計			1200.2115	

①高津消防署子母口出張所 平面図（2階）



②高津消防署新作出張所 現況

②	高津消防署新作出張所
所在地	川崎市高津区新作 4 - 1 2 - 7
地番	川崎市高津区新作 4 丁目 4 6 8
建築年月	昭和 5 6 年 3 月
敷地面積	231.14㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造 3 階建て
延床面積／1 階床面積	404.34㎡／125.95㎡
交通条件	J R 南武線「武蔵新城駅」より徒歩15分
用途地域	準住居地域
建ぺい率／容積率	60％／200％
配置車両	・ 消防ポンプ車 1 台 ・ 救急車 1 台



②高津消防署新作出張所 写真

南側



東側



西側

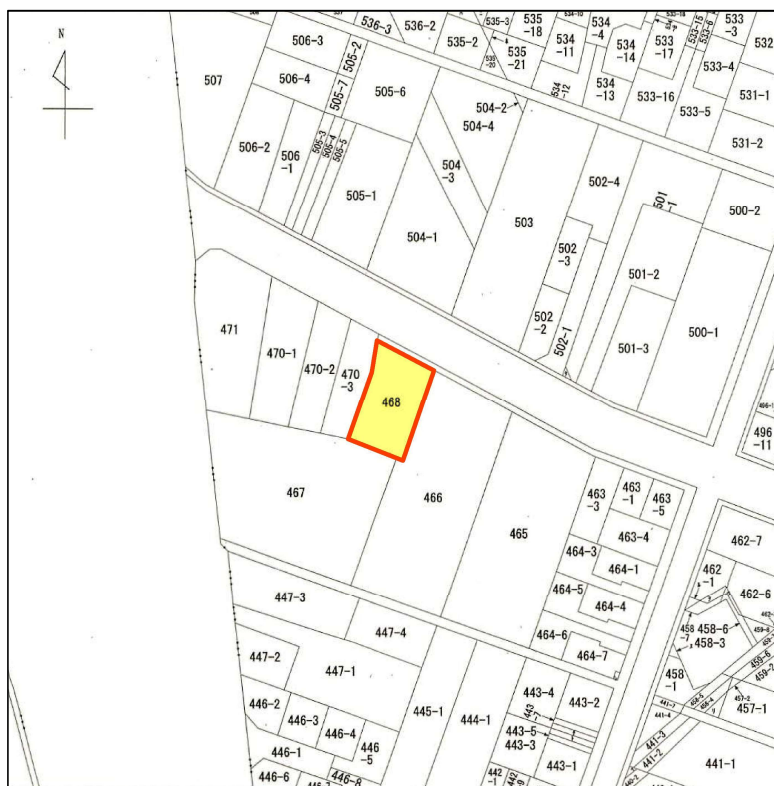


北側
(庁舎正面)

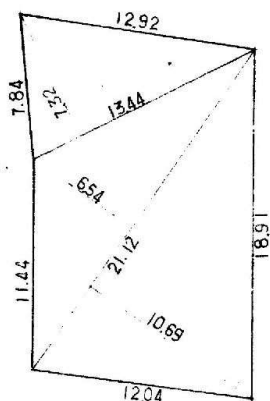


②高津消防署新作出張所 公図／地積測量図

○公図

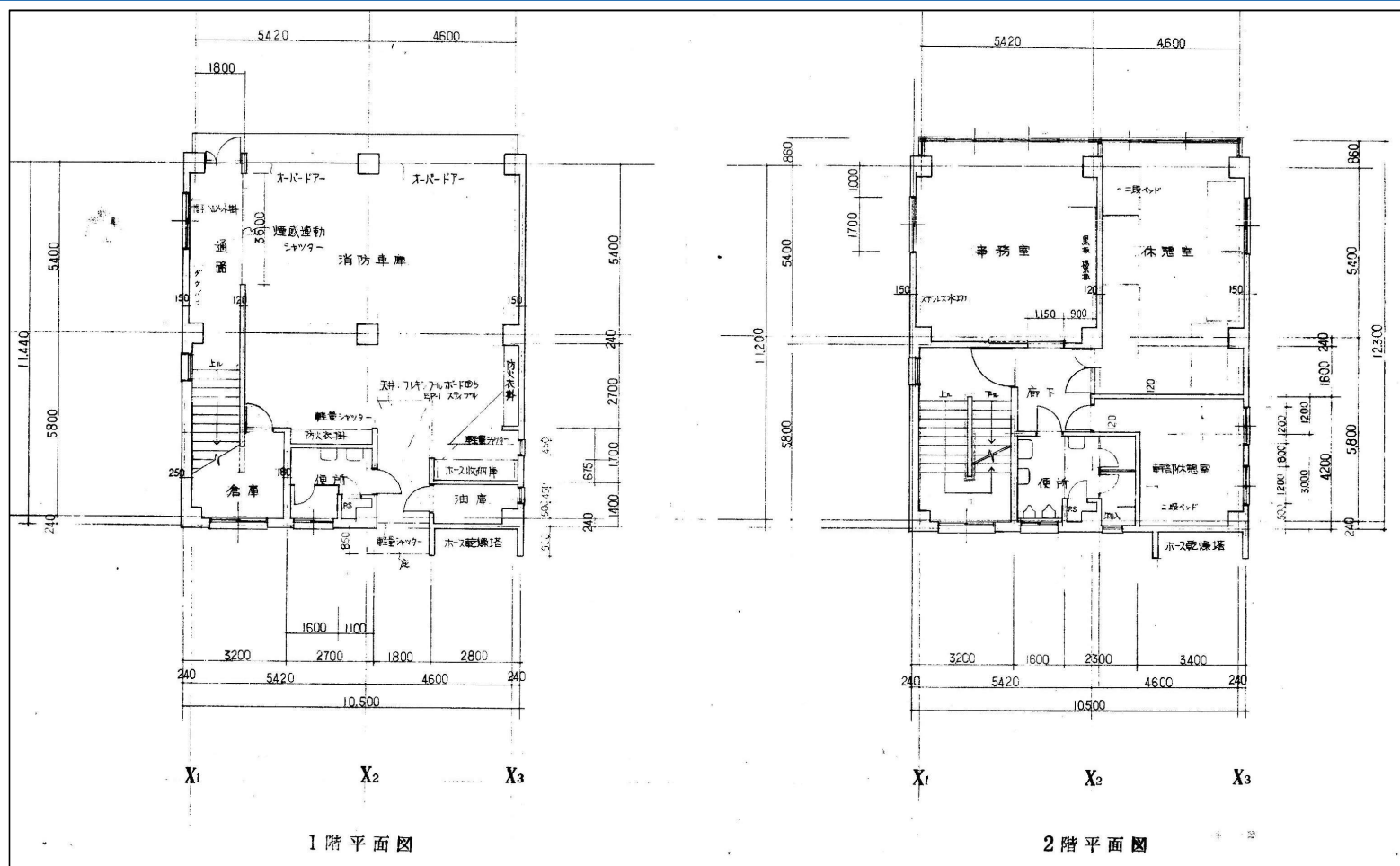


○地積測量図 (抜粋)

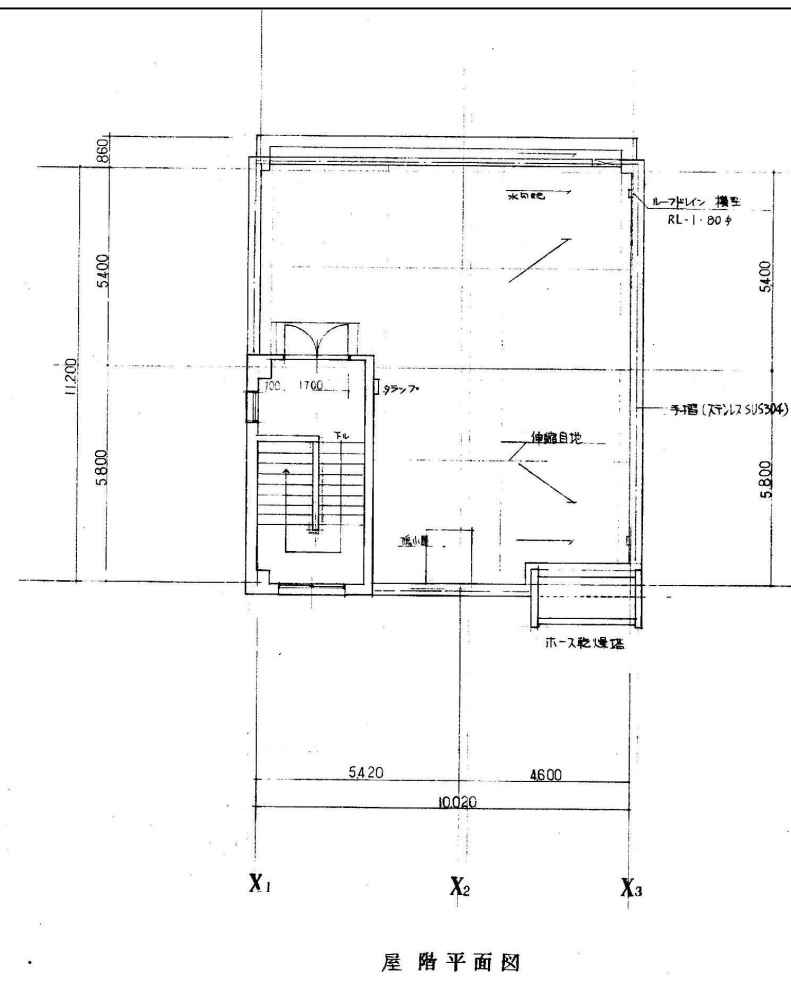
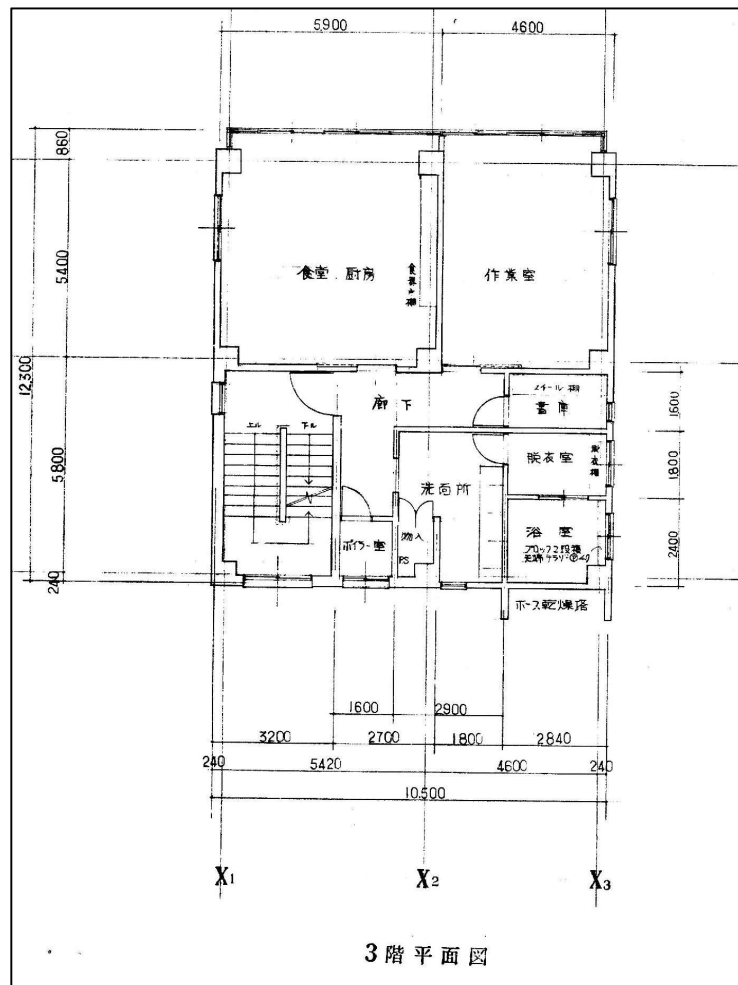


求 積		
13.44	7.32	98.3808
21.12	6.54	138.1248
21.12	10.69	225.7728
計		462.2784
1/2		231.1392
		(69.91)

②高津消防署新作出張所 平面図（1階・2階）

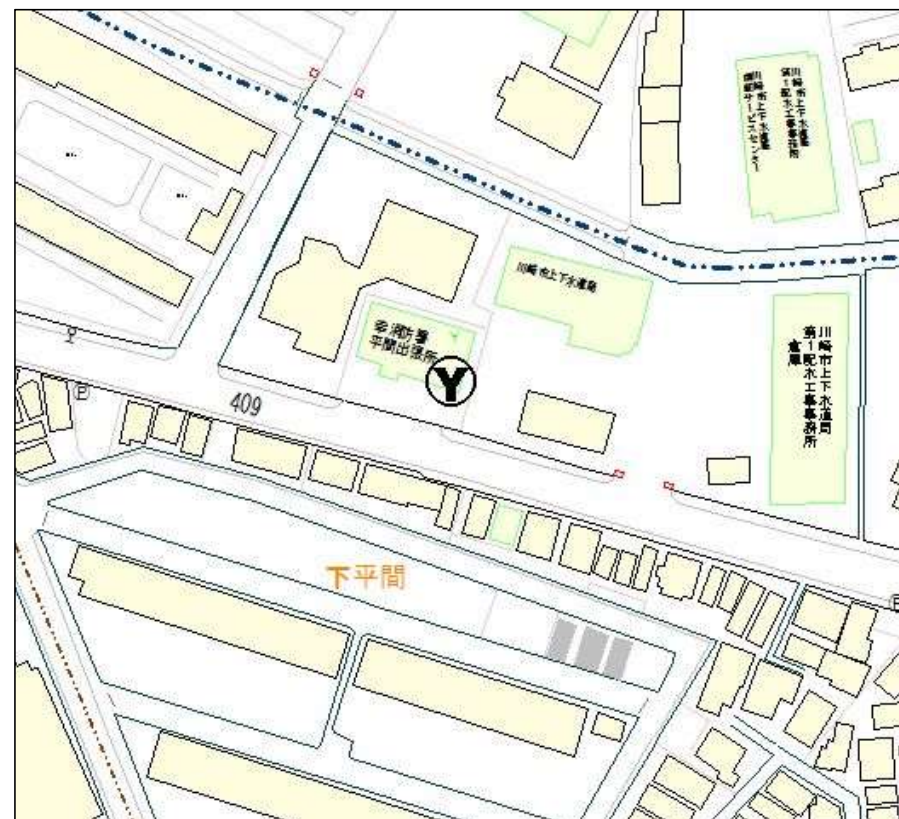


②高津消防署新作出張所 平面図（3階・屋上）



③幸消防署平間出張所 現況

③	幸消防署平間出張所
所在地	川崎市幸区下平間 4
地番	川崎市幸区下平間字稲荷耕地 4 - 3
建築年月	昭和 4 9 年 9 月
敷地面積	530.66㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て
延床面積／1 階床面積	393.31㎡／282.39㎡
交通条件	J R 南武線「鹿島田駅」より徒歩10分
用途地域	第一種住居地域
建ぺい率／容積率	60％／200％
配置車両	・ 消防ポンプ車 1 台 ・ 化学車 1 台 ・ 救急車 1 台



③幸消防署平間出張所 写真

南側
(庁舎正面)



東側



西側

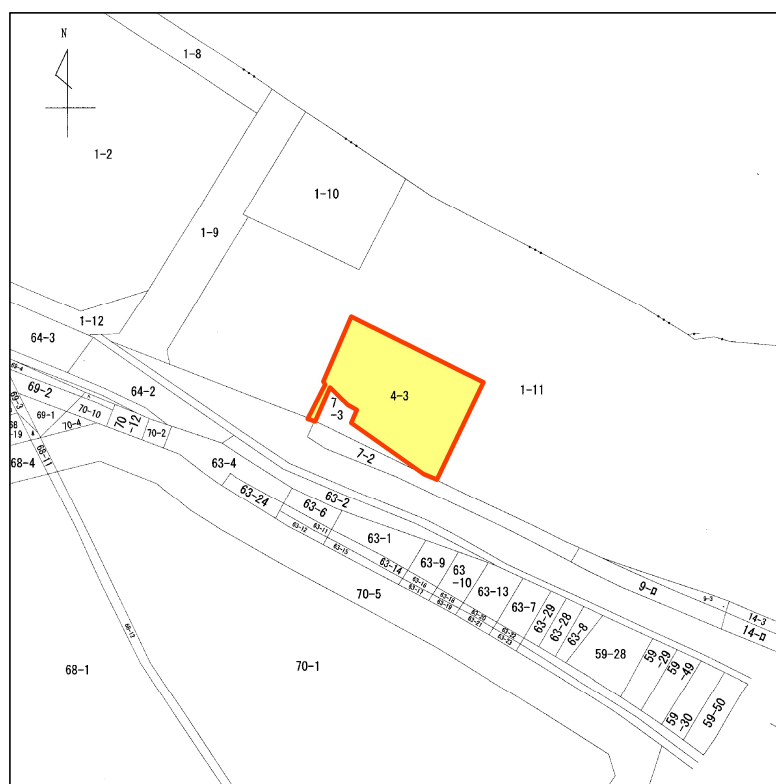


北側



公図／地積測量図

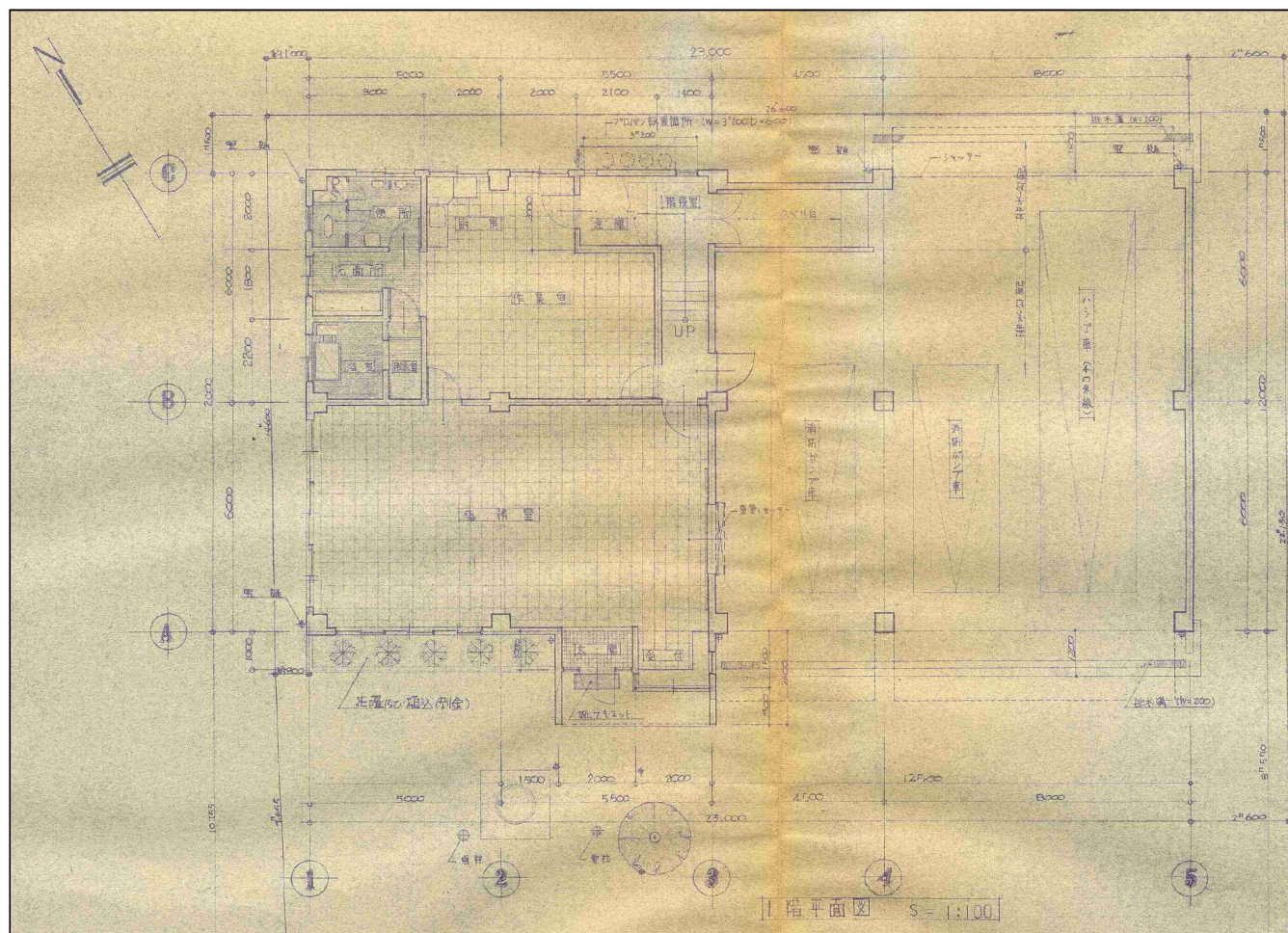
○公^レ義



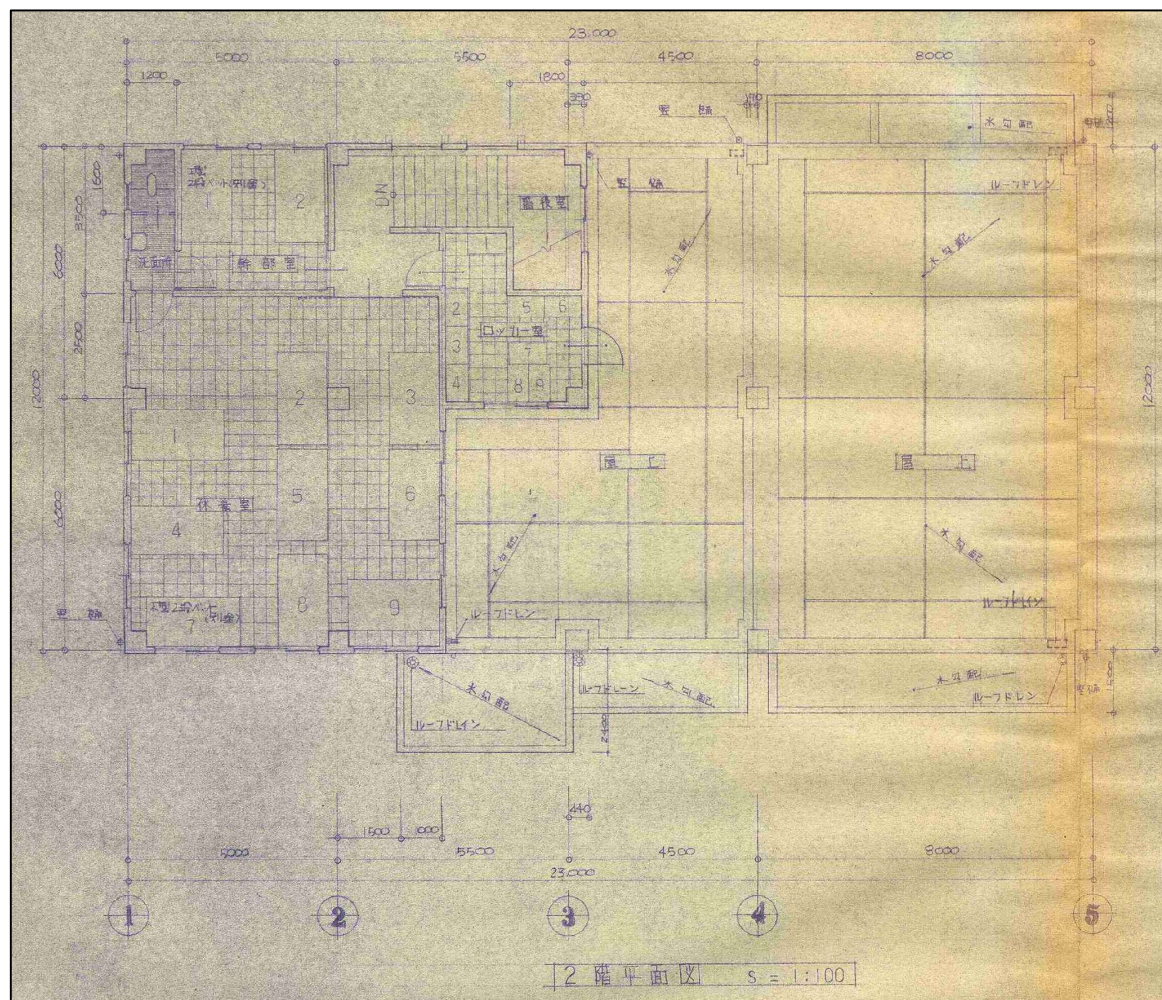
○地積測量図（抜粋）

地 番	4-3	
底 辺	高 さ	倍 面 積
9.22	1.744	16.07968
9.56	1.840	17.59040
29.60	1.439	42.59440
30.04	0.497	14.92988
30.04	12.936	388.59744
28.37	4.086	115.91982
25.47	1.616	41.15952
26.02	1.612	41.94424
26.02	13.178	342.89156
22.27	1.779	39.61833
	合 計	1061.32527
	面 積	530.662635
	地 積	530.66 m ²

③幸消防署平間出張所 平面図（1階）



③幸消防署平間出張所 平面図（2階）



諸条件（必要機能）

※各居室から消防活動への移行を円滑にする必要があることから、可能な限り2階建てが望ましい

居室名	必要床面積	階数	隣接居室	備考
車庫（ビルトイン・シャッター付き）	95㎡前後	1階	事務室、消毒洗浄室、警防倉庫	・車両3台想定での床面積 ・出動時間の関係により隣接道路に面している必要がある
事務室	65㎡前後	1階	車庫	
消毒洗浄室	10㎡前後	1階	車庫、救急倉庫	脱衣所含む
救急倉庫	15㎡前後	1階	消毒洗浄室	
警防倉庫	15㎡前後	1階	車庫	
男子トイレ	15㎡前後	各階		各階数に1か所必須
女子トイレ	5㎡前後	各階		各階数に1か所必須
厨房	15㎡前後	任意	食堂	食品庫含む
食堂	25㎡前後	任意	厨房	
仮眠室（個室）	10㎡前後×14室	任意		
トレーニングルーム	20㎡前後	任意		
洗面・洗濯乾燥室	10㎡前後	任意		
浴室（ユニットバス）	5㎡前後×3室	任意		脱衣所含む
打合せ室	10㎡前後	任意		

諸条件（その他①）

- ・ 消火用ホースを洗浄するためのスペース（10㎡前後）及び干すための電動リフト付きの乾燥塔（高さ12m程度）が必要
- ・ 災害出動に支障が無いような車庫・車両の配置が必要
- ・ 施設の維持管理、運営については、職員が実施
- ・ 高津消防署子母口出張所については、現在救急車の配置が無いが、追加で配置した場合についても検討が必要
- ・ 車庫については、予備車両を保管しておく必要があることから、配置車両＋1台のスペースが必要
- ・ 指令があった際は、事務室や仮眠室の諸室から速やかに消防活動へ移行する必要があることから、設計においてはその点が重視されるため、詳細な内容について、本市との綿密な協議が必要
- ・ 消防活動のため、昼夜問わずサイレンが鳴り響く環境

諸条件（その他②）

★（参考）近年、改築整備を実施した消防出張所の延床面積

令和2年度 宿河原出張所 514.20㎡（敷地391.58㎡、2階建て）

令和4年度 栗谷出張所 542.35㎡（敷地952.25㎡、2階建て）

★（参考）車両のサイズ

消防ポンプ車：長さ5800×幅2000×高さ2800mm程度

化学車：長さ9600×幅2500×高さ3500mm程度

救急車：長さ5800×幅2000×高さ2800mm程度

事業スケジュール（予定）

- ・令和7年度：設計（+建替の場合は解体工事）
- ・令和8年度：施設整備
- ・令和9年度：運用開始



救急太助

※①～③の施設のうち、1施設の整備スケジュール
（ほか2施設の整備スケジュールは未定）

※①～③の施設のうち、優先して整備する施設については調整中
となっています。

※スケジュール及び対象施設については、
変更する場合があります。

事業者の皆様に御意見を求めたい事項

消防出張所の整備における民間活用の可能性について

- * D B 方式や B T 方式、その他民間活用手法を採用する余地があるか
(従来手法を含めて、どの手法が最も適しているか)
- * 民間活用手法を採用することで、費用削減は見込めるか、効果的・効率的な消防活動を支援するアイデアは見込めるか
- * 余剰敷地や余剰容積率の活用により、地域課題の解決や財政負担縮減は見込めるか
- * 活用にあたって、課題及びその対策など、具体的なアドバイス等

⇒ 民間活用の検討において、参考とさせていただきます。